

2025年7月度bossjob新規登録状況レポート

2025年7月度のbossjob日本国内の新規求人企業と新規登録求職者の企業業種、求人職種、求職者の希望職種の割合データを公表いたします。

新規登録企業業種

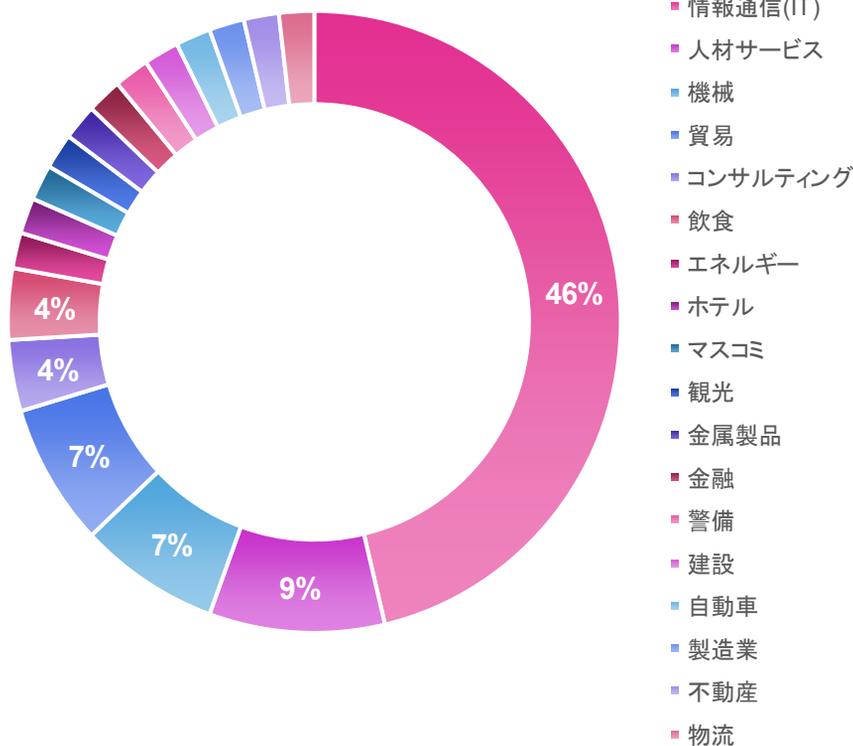
2025年7月にbossjobへ新規登録した企業の業種別割合を分析した結果、「**情報通信(IT)**」が**46.3%**と引き続き最多となり、先月の**49.2%**から微減したものの、依然として全体の半数近くを占める主力業種であることがわかりました。デジタル人材を求める企業の登録が継続して多い傾向は変わらず、今後も需要の高さが続くと考えられます。

また、先月に引き続き「**人材サービス**」（7月：9.3%、6月：11.5%）、「**コンサルティング**」（7月：3.7%、6月：9.8%）などの**専門職業種の登録が見られる一方で、比率は減少傾向にあります。**

注目すべきは、「**機械**」「**貿易**」などこれまで登録が少なかった業種が**7.4%**と比較的高い比率で登場している点です。これは、製造系・商社系企業においても外国人材・IT人材の活用が進み始めている兆しといえるでしょう。

さらに、「**飲食**」「**ホテル**」「**観光**」「**警備**」「**不動産**」「**物流**」など**多様な業種が各1.9%ずつ登録されており、業界の広がりが進行中**です。先月登録のなかった「**金融**」「**マスコミ**」「**金属製品**」といった業種の新規参入も見られ、bossjobの利用企業の裾野が着実に拡大しています。

業種	%
情報通信(IT)	46.3%
人材サービス	9.3%
機械	7.4%
貿易	7.4%
コンサルティング	3.7%
飲食	3.7%
エネルギー	1.9%
ホテル	1.9%
マスコミ	1.9%
観光	1.9%
金属製品	1.9%
金融	1.9%
警備	1.9%
建設	1.9%
自動車	1.9%
製造業	1.9%
不動産	1.9%
物流	1.9%



新規求人職種

2025年7月にbossjobに新たに登録された求人職種を分析した結果、「ITエンジニア」職が**32.4%**で最多となりました。6月の**63.0%**からは大きく減少したものの、依然として最大の職種カテゴリーであり、企業側におけるIT人材確保のニーズは継続していることが分かります。今月は他職種とのバランスが取れており、**求人の多様化が顕著に進んでいる点**が特徴的です。

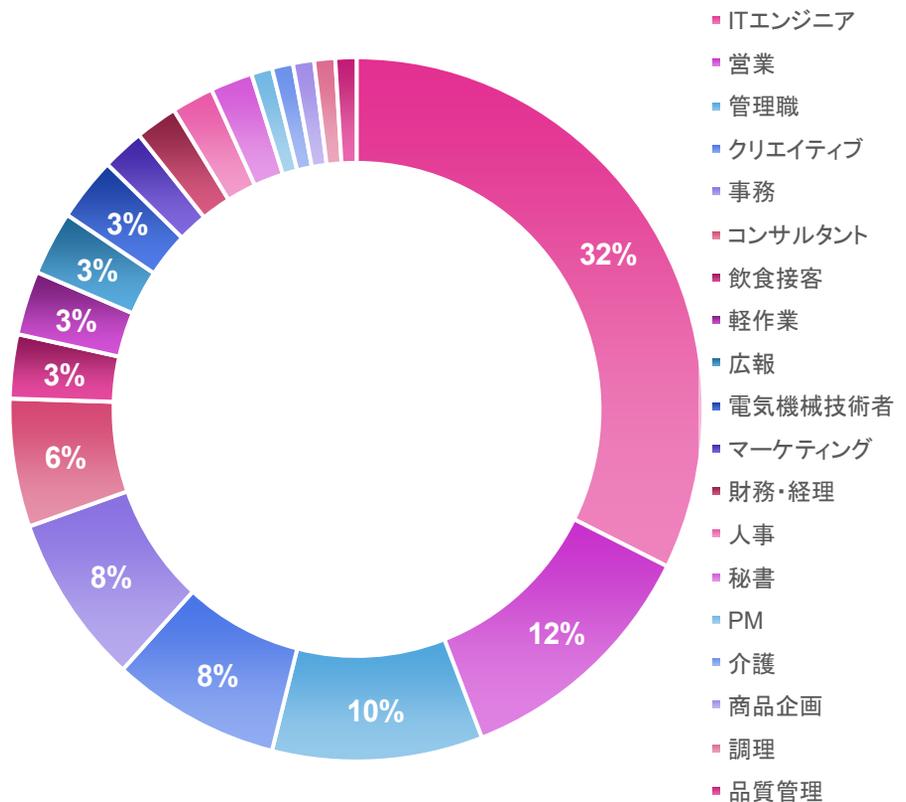
続いて、「営業（11.8%）」「管理職（9.8%）」が上位にランクインし、**対面型やマネジメント系ポジションの求人が増加**傾向にあります。6月時点での「営業管理職（5.6%）」「営業（3.7%）」と比べても、**マネジメント層への求人ニーズが明らかに拡大**していることが伺えます。

また、「クリエイティブ（7.8%）」「事務（7.8%）」が同率で続き、**バックオフィス系・デザイン系職種でも積極的な採用**が見られました。これは、企業のブランディングやマーケティング強化、人員体制の内製化が背景にあると考えられます。

中位層には「コンサルタント（5.9%）」「飲食接客」「軽作業」「広報」「電気機械技術者」（いずれも2.9%）が並び、**多様な職種への求人ニーズの裾野が広がっている**状況です。

さらに、「財務・経理」「人事」「秘書」「マーケティング」など管理・専門職がそれぞれ2.0%前後でバランスよく分布しており、企業の**機能強化や組織体制の見直しを反映した採用**ともいえます。一方で、6月に比較的多かった「日本語講師」や「建設現場監督」の求人は7月には見られず、月ごとの業種特性による変動が確認されます。

職種	%
ITエンジニア	32.4%
営業	11.8%
管理職	9.8%
クリエイティブ	7.8%
事務	7.8%
コンサルタント	5.9%
飲食接客	2.9%
軽作業	2.9%
広報	2.9%
電気機械技術者	2.9%
マーケティング	2.0%
財務・経理	2.0%
人事	2.0%
秘書	2.0%
PM	1.0%
介護	1.0%
商品企画	1.0%
調理	1.0%
品質管理	1.0%



新規求職者希望職種

2025年7月にbossjobへ新規登録した求職者の希望職種を集計したところ、「ITエンジニア」職が**17.7%で最多**となり、6月の「IT (12.2%)」から大幅に増加しました。求人側のIT人材ニーズと希望職種の方向性が一致しており、**スキルマッチングの精度向上が期待される結果**となっています。

続いて、「事務 (14.9%)」「軽作業 (12.7%)」が上位にランクイン。いずれも6月時点で一定数の希望があった職種ですが、7月は割合がさらに増加し、**安定した人気職種として定着していることが伺えます**。

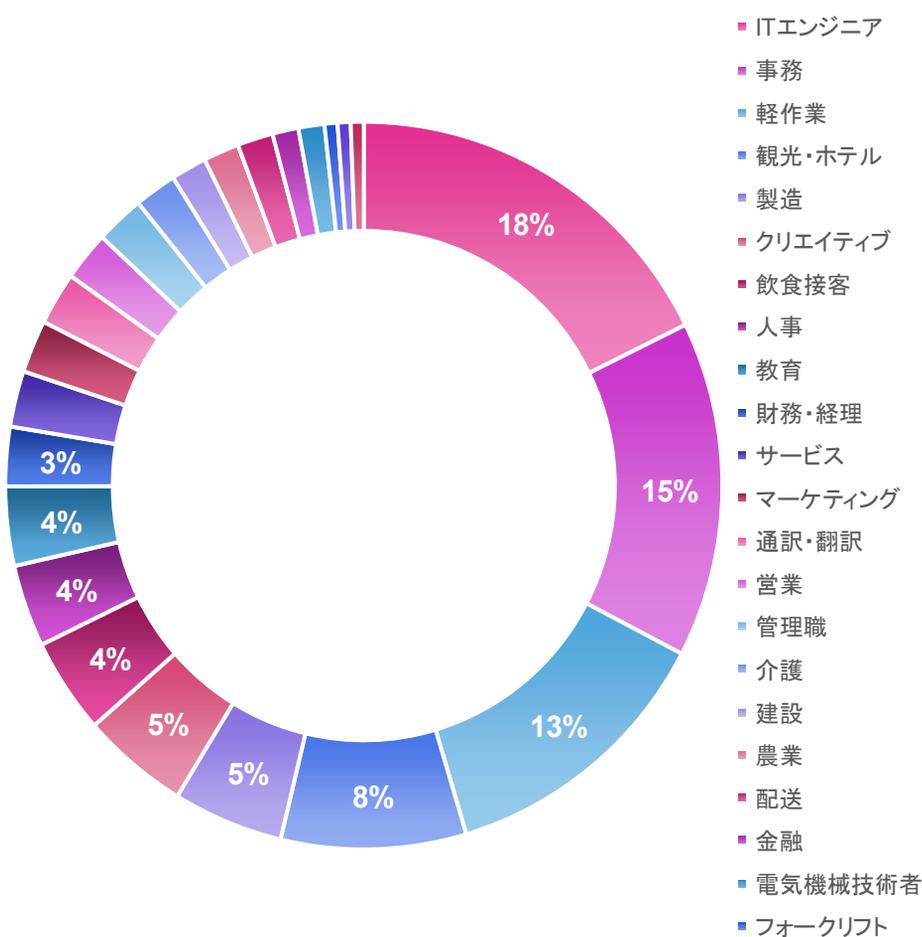
また、「観光・ホテル (8.3%)」は、6月の「観光業 (17.1%)」に比べ減少傾向にあるものの、依然として高いニーズを保っています。訪日観光回復による需要は続いており、**語学力を活かした就業を目指す求職者が一定数いる状況**です。

一方で、「製造 (5.0%)」「建設 (1.6%)」「電気機械技術者 (1.2%)」などの**現場系・技術系職種にも一定数の登録があり**、6月と比べて若干の回復傾向が見られます。

さらに、「人事」「教育」「財務・経理」「営業」「マーケティング」などの**ホワイトカラー職種がそれぞれ2~4%台で分散しており**、求職者の希望が多様化していることが明らかです。

特筆すべきは、「介護」「農業」「配送」「フォークリフト」「秘書」などの**専門性・地域性の高い職種がそれぞれ1%前後で希望されている点**で、今後の地方企業や特定技能人材の受け入れ企業が鍵となる分野です。

希望職種	%
ITエンジニア	17.7%
事務	14.9%
軽作業	12.7%
観光・ホテル	8.3%
製造	5.0%
クリエイティブ	4.8%
飲食接客	4.2%
人事	3.7%
教育	3.5%
財務・経理	2.6%
サービス	2.5%
マーケティング	2.3%
通訳・翻訳	2.3%
営業	2.2%
管理職	2.2%
介護	1.9%
建設	1.6%
農業	1.6%
配送	1.6%
金融	1.2%
電気機械技術者	1.2%
フォークリフト	0.6%
調理	0.6%
秘書	0.6%



Yolo Technology株式会社 bossjob Japan Country Manager 植村 謙一郎

2003年、製造業を中心とする大手人材派遣企業にてキャリアをスタート。主に求職者（2C）向けの集客領域で実績を積む。リーマンショックを契機に、社内の主要メンバーとして人材紹介事業部の立ち上げに参画。

その後、複数のベンチャー企業にて、外国人材の派遣事業の立ち上げを主導。加えて、深刻化する物流業界の人材不足を解決すべく、ドライバー専門の派遣事業を立ち上げ・展開。また、IT人材市場のニーズに応えるため、ITフリーランス人材の事業統括も歴任。

現在は、AIスカウト型グローバル求人プラットフォーム「bossjob」の日本市場責任者（Country Manager）として、日本企業と海外高度人材を結ぶグローバル採用の推進に取り組んでいる。



【主なご取材可能事項】

- ✓ 日本での外国人雇用の現状と必要性
- ✓ 高度外国IT人材が日本ビジネスにもたらすメリット
- ✓ 今後の日本市場における外国人材雇用の動向
- ✓ bossjobについて

【本件に関するお問い合わせ先】

Yolo Technology 株式会社：Ray（レイ）

TEL：03-5860-1025 E-MAIL：feedback@bossjob.jp